


2020
学生の
選んだ
「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award
Prize Winners List 2020

- 授業内容は教職員ポータルまたはキャンパスライフエンジンから「シラバス検索」で確認できます。
- 教職員が授業を見学する場合は「授業時間割表」で教室を確認し、授業開始前に担当教員に申し出て見学してください。
- 所属等は2020年4月現在です。

 東海大学教育支援センター

発行：東海大学教育支援センター 編集：教育支援センター教育支援課 発行日：2020年6月1日
TEL：0463-58-1211(内線2086) E-mail：shien@tsc.u-tokai.ac.jp

教育支援センターのホームページ

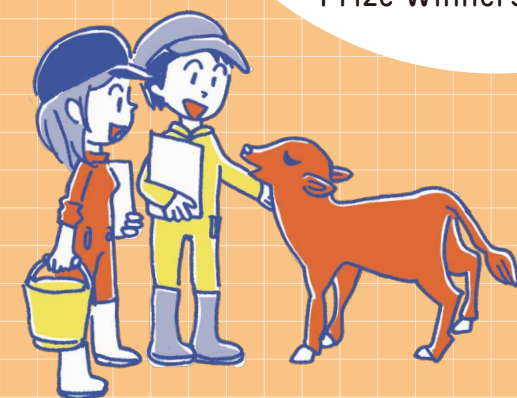
<http://www.esc.u-tokai.ac.jp/>

東海大学教育支援センター

検索



2020
学生の
選んだ
「いい授業」
Tokai Univ. Teaching Award
Prize Winners List 2020



 TOKAI UNIVERSITY
EDUCATIONAL SUPPORT CENTER

◆ 一緒につくろう! 『いい授業』 ◆

学生の皆さんへ

今回も学生の皆さんが選んだ「いい授業」の中から、授業を担当している先生方を表彰させていただきましたのでお知らせします。

以前に実施した「授業のあり方に関するアンケート調査」および公開シンポジウムから、「知的好奇心が持てる」授業は皆さんにとっても先生方にとっても「いい授業」であることがわかりました。

先生方がいろいろと工夫して、わかり易い授業を展開できるようになるためには、学生の皆さんに答えていただく「授業についてのアンケート」が大切な役割を担っています。より良い学習環境の実現には互いの信頼が重要です。これからもアンケートへの回答をよろしく願いいたします。皆さんと一緒により良い大学を創っていきましょう。

東海大学 学長 山田 清志



「4つの力」でいい授業をつくろう

やあ! 僕はリッキー! 東海大学の「4つの力」イメージキャラクターだよ!

2009年に東海大学が社会的な実践力を養うための具体的な教育目標(育成する力)としてこの「4つの力」を策定したんだ。

「4つの力」とは、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つ。

自ら考える力

常に未来を見据え自らが取り組むべき課題を探究する力

集い力

多様な人々の力を結集する力

挑み力

困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する力

成し遂げ力

失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく力

僕と一緒に「いい授業」をつくりましょう!!

東海大学の「4つの力」
イメージキャラクター **リッキー**



◆ 優秀賞受賞者 (2019年度選出) ◆

文化社会学部広報メディア学科 **笠原 一哉**先生

工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻 **池田 知行**先生

情報通信学部経営システム工学科 **大竹 恒平**先生

農学部応用動物科学科 **今井 早希**先生

国際文化学部地域創造学科 **植田 俊**先生

選考方法

東海大学では「授業力向上」のために、1993年度から学生による授業アンケートを行っています。1年間に開講された講義科目の授業を対象に、「授業についてのアンケート」の「総合評価平均評価点」、「科目履修人数」、「アンケート実施率」等の結果を考慮し、最終的に大学運営本部が厳正なる審査を行います。

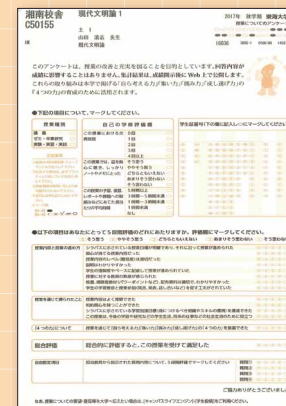
また、授業のポイントである3要素、「わかりやすい」、「聞き取りやすい」、「関心が持てる」は、選定の重要な項目です。受賞者ページ(p4~8)では、右のアイコンを設け、受賞教員が心がけているポイントを記載していますので参考にしてください。

わかりやすい

関心を持たせる

聞き取りやすい

【授業についてのアンケート】





文化社会学部広報メディア学科

笠原 一哉先生

Kasahara Kazuya

E-mail : kk961072@tsc.u-tokai.ac.jp



【学 位】修士(政治学)
【専門分野】ジャーナリズム論/メディア史
【主要授業担当科目】新聞・出版論/新聞報道論/ジャーナリズム・ゼミナール/ジャーナリズム研究

グループワークで多様な見方を養う

世の中の出来事やジャーナリズムの役割に対して、複眼的な視点を主体的に身に付けてもらうため、大人数授業でもグループディスカッションを中心に授業を設計しています。



環境をつくるため、①グループは予めこちらで4人1組に分けておく②座席を指定する③ディスカッションの際に教室を回り、積極的に声をかけて雰囲気盛り上げる、などを行っています。

笠原先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすくする
パワーポイントでは、多くの情報を一度に表示して負担感を与えないよう、2~3行ずつ小出しにしています。

関心を
持たせる
なるべく学生に身近な具体的な事例から出発するようにしています。

聞き取りやすくする
つい早口になってしまうので、大教室でもなるべく学生一人ひとりと視線を合わせ、理解度を確かめながら話すことを意識しています。

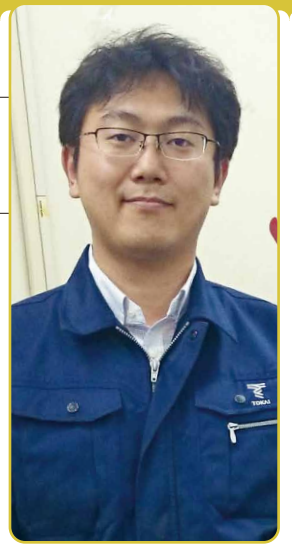


工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻

池田 知行先生

Ikeda Tomoyuki

E-mail : t-ikeda@tsc.u-tokai.ac.jp



【学 位】博士(工学)
【専門分野】電気推進工学
【主要授業担当科目】衛星システム工学/宇宙計測・センサ工学/航空宇宙学製造/航空宇宙学実験1・2/入門ゼミナール1・2/研究ゼミナール1・2

学びのきっかけを意識した授業展開

工学分野における学びの“きっかけ”は「どのように動いているのか」「どのような仕組みなのか」などの純粋な好奇心です。授業において初めから理論を提示するのではなく、直感的にわかるような簡単な図や動画資料、可能であれば実際に使われている機器や部材を用いて作動原理や構造などを解説するスタイルをとっており、学生たちがその分野に興味を持つ“きっかけ”を作ることが出来るような授業構成になるよう心掛けております。



池田先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすくする
授業スライド1枚あたりの情報量を多く過ぎないようにしています。

関心を
持たせる
実物かそれに近いものを授業に持ち込んで学生たちに直接触れらさうか、書画カメラを利用して細部を見ることが出来るようにしています。

聞き取りやすくする
口頭で話すときは、一度にあまり長く話さないようにしています。

「いい授業」のために私はコレを活用

オンラインソフト「イマキク」

受講者がリアルタイムでコメントを投稿したり投票できるソフトです。

学生VOICE!!



佐藤 梨穂香さん
文化社会学部広報メディア学科 2年生

笠原先生の授業では、「イマキク」というツールを使うところが特長です。

「いい授業」のために私はコレを活用

書画カメラ、ウェブカメラ

取り外した回路基板や細かい電子部品、CFRPなどの複合材料にみられる織り構造を解説するとき、これらの機材を使えば小さなものであってもスクリーンに大きく映し出せますのでとても便利です。

学生VOICE!!

伏見 太一さん
工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻 4年生

池田先生は、学生との対話を意識されており、学生の興味を引く授業が特徴です。



授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

Table with 5 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include 新聞・出版論, ジャーナリズム研究A, ジャーナリズムゼミナールA.

※春学期は遠隔授業のため一部変更の場合があります。

授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

Table with 5 columns: 科目名, 必選, 単位, 開講校舎. Rows include 航空宇宙エレクトロニクス, 衛星システム工学, 卒業研究1, 卒業研究2.

※春学期は遠隔授業のため一部変更の場合があります。



情報通信学部経営システム工学科

大竹 恒平先生

Otake Kohei

E-mail : otake@tsc.u-tokai.ac.jp



【学 位】博士(工学)
【専門分野】データサイエンス/消費者行動/社会ネットワーク
【主要授業担当科目】オペレーションズリサーチ/システム工学/確率システム/コンピュータリテラシ/スケジューリング/社会科学

社会との接点を意識する

私は、オペレーションズ・リサーチの技法を用いた、マーケティング領域における消費者行動に関する研究に取り組んでいます。オペレーションズ・リサーチの技法は、実社会における様々な場面で活用されています。私の講義では、企業事例や研究事例などを各講義テーマに取り入れ、今学んでいることと社会との接点を意識した講義展開を心掛けています。また、ゼミナールや卒業研究において、講義を通じて学んだ知識が生かされるよう、自身で課題を発見し、課題の解決に取り組み、新しい発見を行う、といった研究の一連のプロセスを体験できるような、講義内課題・レポートを出題しています。



大竹先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすくする 直感的に理解ができるような図・表を用いた説明を心掛けています。数学的な要素に苦手意識を持っている学生もいるため、初めに概念的な説明を行ったうえで、数式を用いた説明を行う様に心掛けています。

関心を高める 私自身が楽しみながら講義を行っています。特に、過去の研究事例を紹介する際には、「今学んでいる知識で、こんなに面白いことができるんだよ」ということを伝えることを意識しています。これは、卒業後も含めたその後の探求心を刺激することにも繋がると考えています。

聞き取りやすくする 学生の反応を確認しながら話すように意識しています。理解が浸透していないと感じた際には、言い回しや具体例を変えて、説明を繰り返すように意識しています。また、「今日はこれだけは押さえてね」といった様に、重要なポイントを意識させるように心がけています。



農学部応用動物科学科

今井 早希先生

Imai Saki

E-mail : imais@tsc.u-tokai.ac.jp



【学 位】博士(農学)
【専門分野】行動神経科学/動物行動学
【主要授業担当科目】動物生理学/伴侶・介在動物論/牧場実習/動物飼育管理実習/食品製造実習/フレッシュマンゼミナール

楽しい!を共有・共感

意外性や驚きを学生と一緒に味わう授業を心がけています。学生はもちろんですが私も楽しいと思える内容を盛り込んでいます。例えば、授業に関するトピックスを動画で見てから本題に入る、「AIが進化するとペットはいらない?」といったリアルタイムなテーマを取り上げる等です。また、課題に対して自分の考えを文章に起こす(Think)、ペアを作り(Pair)、意見交換をする(Share)を実施し、学生同士が自由に話す機会を設けています。個性的な意見や私が面白いなと思った意見は次の授業冒頭で紹介し、クラス全体でも共有します。基本的なことですが板書を消す時には必ず書き終わったかを尋ね、反応を見ながら進行することも学生と一緒に講義を楽しむ上で大切なポイントだと思います。



今井先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすくする 学生が日常で使う言葉やゲームや漫画の題材を用いた例え話に置き換え説明します。配布資料やスライドに使用する画像はシンプルなものを選び視覚的にも分かりやすい工夫をしています。

関心を高める 動画の活用です。TED Educationなどの動画を流しながらアテレコで解説します。動画を講義最初のパートに持ってくると「つかみ」として、最後に持ってくると次回への期待度UPに効果的です。

聞き取りやすくする 大切なポイントはあえてしゃべり言葉のまま感情をのせて一人芝居のように話します。また、私語をする学生へは必ずやりわり注意をし、授業環境が静かに保たれるよう配慮しています。

「いい授業」のために私はコレを活用

グループワークとプレゼンテーション

講義で学んだ知識を実践することを重視しています。そのため、殆どの講義において学生間でのグループワーク並びにグループ内で得られた成果のプレゼンテーション(発表会)を行っています。

学生VOICE!!

渡邊 佑理さん 情報通信学部経営システム工学科 4年次生

大竹先生の講義は、わかりやすい例題を使って説明して下さるので、とても内容のイメージがしやすいです。また、グループワーク形式で自分達が設定したテーマに取り組み、授業で学んだ知識を活用する機会があるので、興味や関心を持って受講することができました。これらの成果を他のグループに向けて発表することで、プレゼンテーションに関してもとても勉強になりました。相談もしやすくとても親しみやすい先生です。



「いい授業」のために私はコレを活用

Socratic

使用頻度は少ないですが、クラス内での意見の分布や割合をリアルタイムで視覚的に共有しています。

学生VOICE!!

筒井 亜樹子さん 農学部応用動物科学科 4年次生

今井先生の授業では、身近に感じる「ハテナ?」が「ナルホド!」につながりました。「なぜ耳で音が聞こえるの?」「なぜペットは可愛いのだろうか?」という誰もが1度は考えたことのある素朴な疑問を、動物が生きている仕組み、人間の体や心の仕組みを通して、分かりやすく教えてくださいます。授業を聞きながら一知らなかつた! そうなんだ!と、ワクワクする内容が盛り沢山で、授業終わりには誰かに話したくなってしまいます。



大竹先生の2020年度の授業

▶授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

| 春学期 | 科目名 | 必選 | 単位 | 開講校舎 |
|-----|--------------|----|----|------|
| | オペレーションズリサーチ | 選 | 2 | 高輪 |
| | 社会科学 | 必 | 2 | 高輪 |
| | コンピュータリテラシ | 選 | 2 | 高輪 |

※春学期は遠隔授業のため一部変更の場合があります。

今井先生の2020年度の授業

▶授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

| 春学期 | 科目名 | 必選 | 単位 | 開講校舎 |
|-----|-------------|----|----|------|
| | フレッシュマンセミナー | 必 | 2 | 阿蘇 |
| | 動物飼育管理実習2 | 必 | 1 | 阿蘇 |
| | 牧場実習 | 必 | 1 | 阿蘇 |

※春学期は遠隔授業のため一部変更の場合があります。

| 秋学期 | 科目名 | 必選 | 単位 | 開講校舎 |
|-----|-----------|----|----|------|
| | 伴侶・介在動物論 | 選 | 2 | 阿蘇 |
| | 動物生理学 | 選 | 2 | 阿蘇 |
| | 応用動物科学実験2 | 必 | 2 | 阿蘇 |

学生の授業アンケートから選んだ「いい授業」2020



国際文化学部地域創造学科

植田 俊先生

Ueta Shun

E-mail : ueta@tsc.u-tokai.ac.jp



【学 位】修士(体育学)
 【専門分野】スポーツ社会学/地域スポーツ論/まちづくり・コミュニティ形成論
 【主要授業担当科目】社会調査法/社会調査演習/社会調査実習/フィールドワーク論/地域社会学/コミュニティ・スポーツ論

All You Need Is “Learn (Actively)”

学生時代の、授業に対する「話が長いなあ…」という思いは、講じる側になった途端「時間が短すぎる!」へと豹変しました。これまで、教育に大変な情熱を注いで下さった先生達への不徳と不孝を恥じるとともに、学生の学欲を最大限に引き出せる方法の追求を自らに使命として課し、今は「話すぎない」ことを心がけております。話す内容の道標は示しつつ、道中のプロセス(既存の事実)や次の道標までのたどり着き方(決まった考え方・理論)を示しすぎないようにする。「先生の話は物足りない!」という誇りを恐れず、「別の見方はないか?」「あの別の事実はどう捉える?」といった、学生を学修にいざなう問いを生み出し、学生にこそ授業時間を「短く」感じてもらえたらと思っています。



植田先生の『授業をよくするための』テクニック

わかりやすく話す
 100分を授業テーマによって2~3クールに分けています。1クールごとに内容にまとまりを持たせて、話を終えるごとにその内容を学生たちにワークシートにまとめて振り返ってもらいます。

関心を持たせる
 学生たちの日常生活やこれまでの経験との接点を感じられるようにしています。「学生たちの今(まで)の生活・経験」が、学生たちが最も納得できる事実・実例・根拠になるとしています。

聞き取りやすくする
 私自身は、適度なスピードとリズムをもたせた明瞭な「発話」を心がけています。また、授業の冒頭で毎回「みんなの周りに、静かに授業を聞きたいと思っている友達がいるから協力してあげて」とお願いしています。学生たちが「聞きやすい環境」をみんなで作り上げる大切さも伝えています。

「いい授業」のために私はコレを活用

作家・漫談家の動画

これを授業中に見せるわけではありません。「話」を武器とする様々なジャンルのプロから、聴く側の心を掴む話し方・言葉の選び方などを学ぶために、授業準備の段階で積極的に活用しています。話の筋の作り方も参考にしています。

学生VOICE!!



盛岡 諒太さん
 国際文化学部地域創造学科 4年次生

植田先生の授業は学生に自ら考えさせ、なおかつその考えを外に出す授業でした。授業の内容も理解しやすく、記憶に残りやすかったです。そのおかげでどんなときでも考えてから行動する癖ができ、生活に役立っています。授業外でも研究室に気軽に質問をしに行くことができ、相談にものってくれるので、学生のことをしっかりと考えてくれる先生だと感じました。

▶授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

| 春学期 | 科目名 | 必選 | 単位 | 開講校舎 |
|-----|-------------|----|----|------|
| | コミュニティスポーツ論 | 選 | 2 | 札幌 |
| | 社会調査演習 | 選 | 2 | 札幌 |
| | フィールドワーク論 | 選 | 2 | 札幌 |

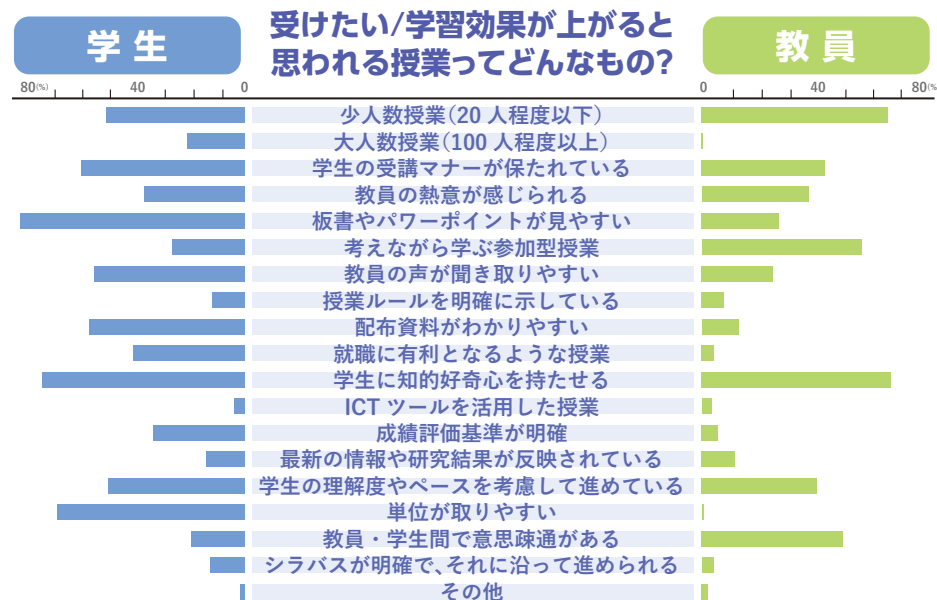
| 秋学期 | 科目名 | 必選 | 単位 | 開講校舎 |
|-----|-------|----|----|------|
| | 社会調査法 | 選 | 2 | 札幌 |
| | 地域社会学 | 選必 | 2 | 札幌 |

※春学期は遠隔授業のため一部変更の場合があります。

植田先生の2020年度の授業

いい授業 アンケート結果

※2016年実施結果



学生が思うベスト3

- 1 板書やパワーポイントが見やすい
- 2 学生に知的好奇心を持たせる
- 3 単位が取りやすい

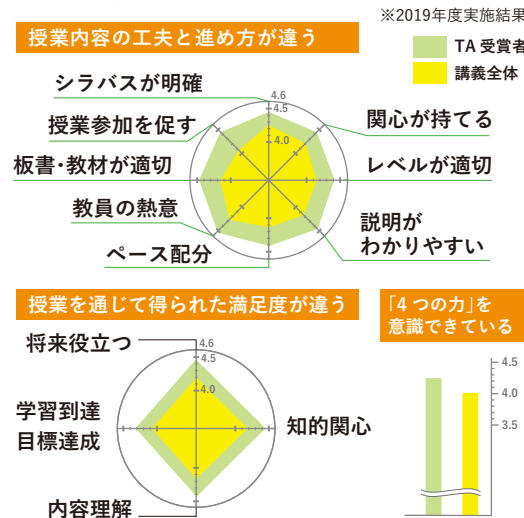
POINT

「知的好奇心を持たせる」は、いずれでも上位に!

先生が考えるベスト3

- 1 学生に知的好奇心を持たせる
- 2 少人数授業 (20人程度以下)
- 3 考えながら学ぶ参加型授業

TA受賞者と講義科目全体を比較

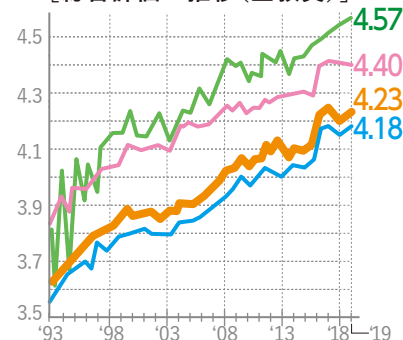


今回の総合評価は…

4.23 (5点満点中)

※2019年度秋学期の平均

[総合評価の推移(全教員)]



東海大学教育支援センター
土屋所長に聞く

授業改善のポイント集

教育支援ツールやスキルを用いることで、より効果的な授業を行うことができます。ここでは、学生の力を伸ばすための授業改善ポイントとあわせてご紹介します。

ポイント!

- ① 宣言する!
- ② 積極的な挨拶!
- ③ 名前を覚える!
- ④ グループディスカッションを行う!
- ⑤ 学生の個性を知る!
- ⑥ ミニッツペーパーを活用する!
- ⑦ 双方向授業を心がける!
- ⑧ ツールを活用!
- ⑨ 授業についてのアンケート結果を見直す!

ポイントは
この9つ!



ポイント!

- ① 宣言する!
- ② 積極的な挨拶!
- ③ 名前を覚える!
- ④ グループディスカッションを行う!

「いい授業」をするために必要とされる代表的なポイントを4つあげてみます。まず1回目の授業で、授業マナーやルールについてきちんと「宣言」すること。学科等で明確にガイドラインを決めておくこととスムーズでしょう。他にも、毎回授業で小テストを実施する、シラバスと一緒に決まり事を配布する、座席指定をするなどで効果を出すことができます。

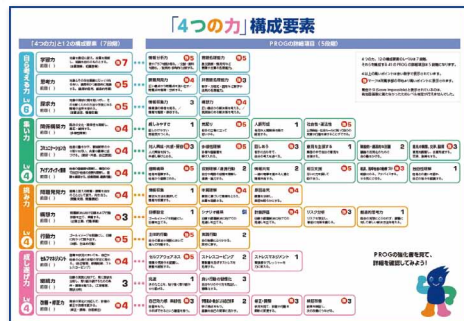
次に重要なのが先生から学生への積極的な挨拶です。後列に座っている学生に積極的に話しかける、名前を覚えて呼ぶ、教室内を回り学生と対話する、といったことは、結果として授業マナー向上に効果的といえます。

さらに学生が主体的に学べるようにするために、グループディスカッションが導入できればより効果的です。私語が減る効果があり、学生自身の理解度も向上します。

ポイント!

- ⑤ 学生の個性を知る!

学生の個性を把握するためには、教員と学生の間で十分なコミュニケーションが必要となります。「4つの力」のアセスメント結果(1年次と3年次に実施)では、各学生のリテラシーやコンピテンシーを確認することができるので、個性に応じた対応を適切に行うための目安として活用してください。なお、教員は学生に返却している結果報告書を学生支援システムで閲覧できます。履修学生やゼミ学生の状況把握だけでなく、プロジェクトやクラブ活動、就職活動の指導時にも活用できます。



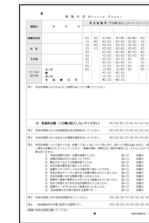
▲「4つの力」のアセスメント結果のサンプル
12の項目から構成され、項目ごとに7段階で評価される。

ポイント!

- ⑥ ミニッツペーパーを活用する!

黒板の文字をノートに写すだけで勉強している感を残してしまうことや、勇気がなくて質問することなく「分からない」が累積して学習意欲が低下すること、あるいは、黒板の写真を撮るだけで復習を行わないなど、せっかくの講義が積極的に活用されていないことがあります。これら为了避免するために、毎回授業の理解度チェックをすることはとても重要です。

ミニッツペーパーを使えば、授業の「工夫の効果」や「理解度」「関心度」を日頃からチェックして、授業改善のヒントを得ることができるでしょう。ここで入手した情報を「理解度」の進んでいない部分の対応やレポート課題や小テスト・定期試験の出題内容に活用することで、学生の学習状況にあわせた授業の進め方をすることができます。また、出席情報のデータとしても活用できるようになっています。



▲授業支援システム 学生HOME画面

▲ミニッツペーパー
定型テスト用紙5種のほか、独自の内容にすることも可能です。

Web上で、資料配布、レポート提出、小テスト実施、アンケート回収、出席管理などができるシステム。授業の流れに沿ったコンテンツを提示することで理解度向上が期待できます。また、掲示板(ディスカッション)機能を利用する事によって意見交換が活発に。提出レポートの管理も容易になるため、授業補完ツールとしてご利用ください。

ポイント!

- ⑦ 双方向授業を心がける!
- ⑧ ツールを活用!

学生に知的好奇心を持ってもらうには「生きた言葉」のキャッチボールが最も効果的です。しかし、大人数授業では学生一人ひとりとコミュニケーションをとることは時として難しい状況があります。そのような時は大学内の教育支援ツールや施設をお勧めします。これらを活用すれば、教員と学生間の「会話がある授業運営」を推進していくことが可能です。

代表的なツール

クリッカー



二択カード



両ツールとも、わかりやすく、かつ楽しく学生のレスポンスを集計できます。

教育支援施設



双方向授業に特化した「アクティブ・ラーニング教室」

2014年に湘南校舎にて開設した「アクティブ・ラーニング教室」。双方向授業にあわせた仕掛けがたくさん用意されています。



▲テーブル型体のイスは、2人や4人などグループディスカッションにも最適です。



▲壁の3面に電子黒板が設置されており、様々な分野の授業で利用されています。

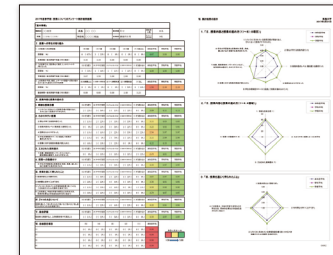
利用問い合わせは、教育支援課(720-2086)へ

ポイント!

- ⑨ 授業についてのアンケート結果を見直す!

授業についてのアンケート結果は、翌学期以後、アンケートを実施した科目ごとに個別の集計結果を確認することができます。項目は①授業への学生の取り組み、②授業内容と授業の進め方、③授業を通じて得られたこと、④『4つの力』について。それぞれ、学科平均、学部平均と比較しながら値を確認できます。次期の授業改善に活用するとよいでしょう。

なお、アンケート結果について、思い当たる原因がない場合は、教育支援センターに授業コンサルテーションの依頼もできます。第三者の立場のスタッフによる分析から、原因に気付くことがあるかもしれません。



▲授業についてのアンケート集計結果個票(サンプル)



授業アンケートから / Tokai Univ. Teaching Award Prize

学生の選んだ「いい授業」

Winners List 2020

受賞者一覧 (2002～2019年度)

※退職者、名誉教授、掲載辞退者を除いています。
※現在の所属名称で表示しています。

マークの見方

優秀賞 ('00:受賞年度 '00年:受賞年)

*…2007年度以前の「最優秀賞」を示す。(2007年度以前は選考方法が異なり最優秀賞と優秀賞があるため)

| | | | | |
|--------|-----------------|-----------|-----------|--|
| 文学部 | 文明学科 | 井野上 真弓 先生 | | |
| | 英語文化コミュニケーション学科 | 斎藤 早苗 先生 | | |
| 文化社会学部 | アジア学科 | 葉 千栄 先生 | | |
| | 北欧学科(団体受賞) | | | |
| | 文芸創作学科 | 堀 啓子 先生 | | |
| | 広報メディア学科 | 笠原 一哉 先生 | | |
| | 心理・社会学科 | 浅井 千秋 先生 | | |
| | | 有沢 孝治 先生 | | |
| 政治経済学部 | 経営学科 | 岩谷 昌樹 先生 | | |
| 教養学部 | 国際学科 | 芸術学科音楽学課程 | 梶井 龍太郎 先生 | |
| | | 荒木 圭子 先生 | | |
| | | 小山 晶子 先生 | | |
| | | 小貫 大輔 先生 | | |
| | | 田辺 圭一 先生 | | |
| 体育学部 | 体育学科 | 内田 匡輔 先生 | | |
| | 競技スポーツ学科 | 高妻 容一 先生 | | |
| | 武道学科 | 天野 聡 先生 | | |
| | 生涯スポーツ学科 | 野坂 俊弥 先生 | | |
| 健康学部 | 健康マネジメント学科 | 阿部 正昭 先生 | | |
| | | 小林 理 先生 | | |
| 理学部 | 数学科 | 小川 竜 先生 | | |
| | | 古谷 康雄 先生 | | |
| | | 土屋 守正 先生 | | |
| | 物理学科 | 遠藤 雅守 先生 | | |
| | | 江川 浩 先生 | | |
| | 化学科 | 関根 嘉香 先生 | | |
| | | 基礎教育研究室 | 及川 義道 先生 | |
| 情報理工学部 | 情報科学科 | 内田 理 先生 | | |
| | コンピュータ応用工学科 | 浅川 毅 先生 | | |
| 工学部 | 応用化学科 | 長瀬 裕 先生 | | |
| | 電気電子工学科 | 大山 龍一郎 先生 | | |
| | 機械工学科 | 神崎 昌郎 先生 | | |
| | 航空宇宙学科航空宇宙学専攻 | 池田 知行 先生 | | |
| | 航空宇宙学科航空操縦学専攻 | 新井 直樹 先生 | | |
| | | 中川 淳雄 先生 | | |

| | | | |
|------------|----------------|-------------------|----------|
| 観光学部 | 観光学科 | 立原 繁 先生 | |
| 情報通信学部 | 情報メディア学科 | 濱本 和彦 先生 | |
| 情報通信学部 | 経営システム工学科 | 大竹 恒平 先生 | |
| | | 西口 宏美 先生 | |
| | | 森山 弘海 先生 | |
| 海洋学部 | 海洋生物学科 | 村山 司 先生 | |
| | 海洋フロンティア教育センター | 岡田 夕佳 先生 | |
| 医学部 | 看護学科 | 石井 美里 先生 | |
| 農学部 | 応用動物科学科 | 今井 早希 先生 | |
| | 応用植物科学科 | 櫻村 敦 先生 | |
| 国際文化学部 | 地域創造学科 | 植田 俊 先生 | |
| | | 広川 龍太郎 先生 | |
| | | 山田 秀樹 先生 | |
| | | 張 雷 先生 | |
| | | ディーンエリックスティーブ 先生 | |
| | 国際コミュニケーション学科 | ハミルトンマークC 先生 | |
| | | 中尾 紀行 先生 | |
| | | 田川 正毅 先生 | |
| | | 藤森 修 先生 | |
| | | デザイン文化学科 | 笠原 宏一 先生 |
| 生物学部 | 生物学科 | 吉田 厚子 先生 | |
| 現代教養センター | | シロスブリーマークリチャード 先生 | |
| 国際教育センター | 英語教育部門 | 中川 浩 先生 | |
| | | 星野 芳恵 先生 | |
| | | 安 小鉄 先生 | |
| | 国際言語教育部門 | キム ミンス 先生 | |
| | | 佐藤 浩一 先生 | |
| | | 中島 仁 先生 | |
| 情報教育センター | | 永野 光浩 先生 | |
| 課程資格教育センター | 教育学研究室 | 朝倉 徹 先生 | |
| | | 稲垣 智則 先生 | |
| | 博物館学研究室 | 篠原 聰 先生 | |
| 清水教養教育センター | | 栗原 ゆか 先生 | |
| 九州教養教育センター | | マイナー ダニエル W. 先生 | |
| 札幌教養教育センター | | 和泉 光則 先生 | |



東海大学の 学習支援

あなたの勉強をサポートします!

自分のペースで
自由に勉強したい人は



ホームページ
<http://www.cyber.u-tokai.ac.jp/>

本学の学生及び教職員がいつでもどこでも無料で自学自習のために利用できるオンライン講座を提供しています。提供している内容は、政治・経済、数学、物理、化学、生物、英語、IT基礎、自然科学の基礎、ことばの世界など様々。みなさまぜひご利用ください。



担当者より

始めるきっかけは様々。例えば、高校では学んでいないが学んでみたい科目がある。国語という教科ではなく日本語の美しい表現を学んでみたい。就活前に基本的な内容をおさらいしたい…。単位のためではない、自分のための学びがあります。

教育支援課 横田 卓さん

英語だけでなく、他の外国語も含めて
苦手の克服やさらに向上を目指す人は



場所▶ 湘南校舎1号館1階B翼Global AGORA内
(授業期間・定期試験期間の月曜～金曜 12:00～18:00)
※今春学期はTeamsにて運営(Teamコード:5a1erpu)
平日12:00～17:00(木は13:00開始)

L-Navi(言語・学習相談室)では、英語だけでなく、他の外国語の学習や留学生の支援まで幅広いニーズに応えます。国際教育センターの教員や学生サポーターが、授業に限らず、資格試験や留学など、語学に関わるあらゆる質問や相談に応じます。ライブラリーやカフェもありますので、気軽に立ち寄ってください。



担当者より

多言語・多文化のための自由な学習・交流スペースとしてGlobal AGORA内にL-Navi(言語・学習相談室)があります。教員や学生による語学学習グループの活動や様々なイベントの企画など、言語や文化との出会いの機会を提供していきます。

国際教育センター英語教育部門教授 長沼 君主先生

理科や数学が苦手
個別に対策を立てたい人は



場所▶ 湘南校舎18号館1階
(授業期間・定期試験期間の月曜～金曜 12:35～18:00)
※今春学期は運営なし(閉室)、秋学期も未定

「S-Navi」は、理工系基礎教育科目(数学、物理、化学)の学習支援を行っています。先生や先輩が、授業でわからなかったこと、レポートの書き方、勉強の方法などを親切、丁寧にアドバイスしてくれます。勉強に困った時は気軽に「S-Navi」に相談に来てください。



担当者より

数学や理科の講義でわからないことがあったら、S-Naviで先生や先輩に気軽に質問してください。わからないことがあるのに解決しておかないと、後でとても苦労します。テスト前だけでなく、わからなかつたら早めに相談しましょう。

理学部教授 山本 義郎先生

教育支援センターから



教育支援センター所長
土屋 守正 (理学部情報数理学科)

教育支援センターでは、学習状況や教育環境の改善のため、さまざまなアンケートを行っています。

①学期毎に全科目を対象とする学生の選んだ「いい授業」にも活用されている「授業についてのアンケート」、②毎年行い、キャンパスライフ改善に役立っている「キャンパスライフアンケート」、③卒業時に実施する大学全般に関する「卒業にあたってのアンケート」、更に、④大学が掲げている「自ら考える力、集い力、挑み力、成し遂げ力」を把握する「4つの力」のアセスメント等、入学から卒業まで、学生一人ひとりの声に耳を傾け、学びの場の充実に努めています。

ホームページには
「いい授業」に関する情報が満載!

- 講演会・研修会開催情報
- FD研究会開催情報
- 東海大学Teaching Award
バックナンバー

最新情報は、ホームページで確認できます。

東海大学教育支援センター

<http://www.esc.u-tokai.ac.jp/>